

〔 名 前 〕 **金重 利典** (カネシゲ トシノリ)

〔 職 位 〕 准教授

〔 保有学位 〕 博士 (教育学)

〔 担当科目 〕 赤ちゃんの発達心理学、前期乳児の発達心理学、
後期乳児の発達心理学、赤ちゃんの情動と生理学、保育の心理学、
子どもの理解と援助、幼児理解、卒業論文Ⅰ・Ⅱ

(大学院科目) 保育研究調査法Ⅰ

〔 専門分野 〕 発達心理学、感情心理学

〔 学外活動 〕 日本心理学会会員
日本発達心理学会会員
日本発達心理学会国際研究交流委員 (2019 年～22 年)

〔 主な教育・研究業績 〕

◆ 著書

- ・ 金重利典 (2026). 感情の発達 篠原郁子(編)育ちの支援につなげる発達心理学 (pp.93-105) 八千代出版
- ・ 金重利典 (2024). 情動的コミュニケーションと愛着の発達 寺見陽子(編)コンパス保育の心理学 (pp.55-64) 建帛社
- ・ 金重利典 (2022). 思考の発達 相馬花恵・板口典弘(編)ステップアップ心理学シリーズ発達心理学 ― こころの展開とその支援 (pp.86-102) 講談社
- ・ 金重利典 (2021). 言語の発達 藤原和政・谷口弘一(編)学校現場で役立つ教育心理学 ― 教師をめざすひとのために (pp.48-65) 北大路書房
- ・ 秋田喜代美(監修)『保育学用語辞典』中央法規 2019 年(学びの基礎、基本的認知能力、発達研究のアプローチ担当)

◆ 査読付き論文

- ・ 金重利典・谷口康佑 (2024). 保育者養成大学における保育所のインターンシップを通じた学生の意識の変容 ―1, 2 年生の長期インターンシップに関する調査―, 大阪総合保育大学紀要, 18, pp.1-13.

- ・ 原田満里子・登藤直哉・金重利典 (2022). NICU 卒業生の発達の予後 — 新版 K 式発達検査 2001 に基づく定量的検討, 子育て研究, 12, pp.16-26.
- ・ 金重利典 (2020). 表情理解研究の現状と課題 — 発達的な視点からの検討 —, 心理学評 1 論, 63(2), pp.148-166.
- ・ Kaneshige T, Haryu E (2017). Infants predict expressers' cooperative behavior through facial expressions. PLoS ONE 12(10): e0185840. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0185840>
- ・ Kaneshige T, Haryu E (2015). Categorization and understanding of facial expressions in 4-month-old infant, Japanese Psychological Research, 57(2), pp.20-30.

◆ 査読なし論文

- ・ 東城大輔・井岡瑞日・末次有加・深田直子・金重利典・高田昭夫 (2022). 保育士・教員養成校における初年次教育のあり方について — 読書カードを活用した取り組みを中心に —, 大阪総合保育大学児童保育論集, 1, pp.65-81.
- ・ 金重利典・針生悦子・奥村優子・小林哲生 (2019). 3-5 歳児は出身地の方言話者から学ぼうとするか? — 東京方言と岡山方言の比較 —, 電子情報通信学会技術研究報告, 118(437), pp77-82.
- ・ 金重利典・針生悦子 (2016). 6 か月児は笑っていた人をいい人と判断するのか — 表情を用いた援助行動・妨害の予測 —, 電子情報通信学会技術研究報告, 115(418), pp43-47.

(他 2 件)

◆ 報告書等

- ・ 金重利典・登藤直哉 (2026). 幼児期・幼小接続期における教育を支える園・学校の様相：管理職調査・担任調査から 掘越 紀香・深堀 直人 (編) 令和 5～7 年度プロジェクト研究報告「幼小接続期における教育の質の基盤形成に関する研究 <報告書 第 3 巻> 幼児期・幼小接続期の育ち・学びに関する研究」, 幼児教-007, pp175-222.
- ・ 金重利典 (2022). 乳児期の感情にみる「非認知」 — 乳児がみせる感情の表出と理解, 季刊 発達, 170, pp.14-19.
- ・ 金重利典 (2017). 標準的な社会情緒的コンピテンス 遠藤利彦 (編) 平成 27 年度プロジェクト研究報告書「非認知的 (社会情緒的) 能力の発達と科学的検討手法についての研究に関する報告書」, 文部科学省初等中等教育-031, pp31-43.

◆ 学会発表

- ・ Fujino, M., Kaneshige, T., & Murakami, T. (2024). Infants' smiles and laughter directed towards others change over time. ICP2024, Plague, Czech.
- ・ 浅岡祐羽・金重利典 (2024). アタッチメントスタイルと移行対象の出現と消失, 日本発達心理学

会第 35 回大会, 8AM1-P-PS03, 大阪国際交流センター

- ・ 篠原郁子・金重利典・石橋美香子・小山悠里 (2023). 乳児と幾何学図形に対する養育者の心的帰属内容の比較 動きに対する心的状態の読み取り内容の分析, 日本発達心理学会第 34 回大会, 5PM1-P-PS20, 立命館大学
- ・ 金重利典 (2022). 乳児のみせる表情から表出者を理解する能力, 日本健康行動科学会第 21 回学術大会, S1-1, 大阪総合保育大学
- ・ Kaneshige, T., Haryu, E., Okumura, Y., & Kobayashi, T. (2021). Children's trust in individuals who speak in a familiar regional accent and those who speak in the standard accent used on TV. BCCCD2020+, Virtual.
- ・ 金重利典 (2020). 保育の「質」を測定するアンケート項目の選定 ―保育士の自己報告によるポジティブな養育尺度の開発検討―, 日本保育学会第 73 回大会, 奈良教育大学
- ・ Kaneshige, T., Haryu, E., Hamana, M., Ikeda, S., & Huang, J. (2019). Infants use emotional expressions observed in one situation to predict the expresser's behavior in another. Society for Research in Child Development 2019 Biennial Meeting, Baltimore, USA
- ・ 篠原郁子・金重利典・石橋美香子・小山悠里 (2019). 母親のアタッチメントの内的作業モデルと乳児の社会的発達, 日本心理学会第 83 回大会 3D-67, 立命館大学

(他 10 件)

◆ 社会における活動

- ・ 令和元年～ 幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 (於学校法人城南学園 大阪総合保育大学) 人間関係領域指導法Ⅱ 講師 (現在に至る)

◆ その他

- ・ 日本心理学会 2016 年度優秀論文賞受賞